

第2次野洲市環境基本計画進行管理一覧表 令和4年度事業計画

赤字については、中間見直しにより変更された箇所です。

基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29～R8)で定めた進捗評価のための指標			令和4年度目標	事業計画
					指標	現況(平成27年度)	目標		
1 安全で快適な生活環境づくり	1-1	<p>大気環境 水環境の保全</p> 	健康で快適な暮らしを守るプロジェクト	・市 環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染に係る環境基準の達成状況 ※NO2(二酸化窒素)、SO2(二酸化硫黄)、SPM(浮遊粒子状物質) (三上小学校、駅前北自治会館前、小堤、七間場) ・公共用水域の水質汚濁に係る環境基準の達成状況 ※環境基準の類型指定河川(C類型:新川、江口川、童子川、祇王井川、大山川)のBOD(生物化学的酸素要求量) 	環境基準を達成	維持	・環境基準値を超過した場合の的確な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、水質、騒音、振動などについて、継続的に環境測定や調査(モニタリング)を行い、その結果を公表する。 ・環境基準値を超過する事案が発生した場合は関係機関と連携を図り、迅速および的確に対応する。
	1-2	<p>生活環境の保全</p> 		・市 環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全協定締結事業所数 ・典型7公害に係る公害苦情の件数 	<p>91%(107件) (平成27年度)</p> <p>44件 (平成23～27年度の平均)</p>	100%	減少	<ul style="list-style-type: none"> ・未加入事業所3社(年度当初時点)との締結 ・発生件数の減少
	1-3	<p>環境美化の推進</p> 	きれいなまちを守るプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア団体 ・市 環境課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの不法投棄件数 ※廃棄物不法投棄監視員巡視報告件数 	<p>214件 (平成23～27年度の平均)</p>	減少	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄件数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の監視、パトロールには監視員の力が必要であり、今後も注力を継続していただくと共に、個人が特定できる不法投棄については警察と連携し、再発を防止する。不法投棄をさせないために啓発を行う。 ・自治会や市民団体の自主的な美化活動や、ごみゼロ大作戦・県下一斉清掃などの美化活動に取り組む。 ・市民や事業所によるボランティア清掃活動を支援し、まちの美観の維持・向上に取り組む。
	1-4	<p>まちなかの緑化</p> 	まちなかの緑づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の推進委員会 ・やす緑のひろば ・市 都市計画課 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人当たりの都市公園面積 ※野洲市都市公園条例を参照 ・河辺林保全活動実施回数・参加者数(のべ) 	<p>8.07㎡ (平成27年度)</p> <p>33回・404人 (平成23～27年度の平均)</p>	<p>野洲市総合計画の目標値を準用 (令和7年度 8.5㎡)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為に関する技術基準に基づく公園整備の推進 ・維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為に関する技術基準に基づく公園整備の推進 ・えこっち・やす、他団体との協働による事業実施 →年30回・400人以上

第2次野洲市環境基本計画進行管理一覧表 令和4年度事業計画

赤字については、中間見直しにより変更された箇所です。

基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29～R8)で定めた進捗評価のための指標			令和4年度目標	事業計画
					指標	現況(平成27年度)	目標		
2 循環型社会・低炭素社会づくり	2-1	<p>3Rの促進</p>	ごみの資源化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ資源部会 ・市環境課 ・市クリーンセンター 	・リユースステーション利用者数 (リユース物品無償譲渡会参加者数)	121人 (平成27年度)	維持	リユース利用者数121人以上	・常設のリユース利用を促進し、市民意識高揚を図るための更なる啓発と推進を図る。
					・市内で回収した廃食油のリサイクル率	100% (平成27年度)	100%	・廃食油回収量 →4,430ℓ以上	・リサイクル事業者に引き渡しBDFに再生するために、廃食油回収の周知を行い、市民活動として定着している廃食油の回収を継続する。
	2-2	<p>廃棄物の適正処理</p>	ごみ減量プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らそうプロジェクト ・市環境課 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人あたりの一般廃棄物の排出量 ※一般廃棄物処理計画における目標を参照 	738 g/人・日 (平成27年度)	野洲市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の目標値を準用 (令和6年度733.22g/人・日)	750.1g/人・日	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減等の啓発を行い、ごみ排出の減量を推進する。 ・市民にごみの分別を啓発し、「雑がみ」をはじめ、資源混入率を減少させる。
2-3	<p>地球温暖化への対策</p>	地球温暖化対策推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・えこっち・やす事務局 ・市環境課 ・市総務課 ・市協働推進課 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の電気使用量に対する、市域での再生可能エネルギー設備による発電電気量の割合 CO2排出量の削減(平成25年度比) ※平成25年度排出量:約480千t-CO₂ 公共施設におけるCO₂排出量の削減 ※第3次野洲市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の目標を参照 	6.8% (平成30年度)	令和12年度36～38% (年平均2.6%増)	17.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や家庭における再生可能エネルギー導入の後押しをするため、国や県及び市の施策の情報を発信する。 ・市内域でのCO₂排出量を明示し、情報提供を通じて省エネ機器の導入や省エネ住宅の普及を促進する。 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス年間利用者数 	52,718人/年 (平成27年度)	増加	・コミュニティバス年間利用者数 →53,000人以上	・野洲市コミュニティバスにおける新型コロナウイルス感染症の感染症対策を行いながら利便性向上に取り組む。	
				地球温暖化をテーマとした環境イベントや情報交換会実施回数	-	年1回以上	年1回以上	・地球温暖化をテーマとした環境イベントや情報交換会を実施する	

第2次野洲市環境基本計画進行管理一覧表 令和4年度事業計画

赤字については、中間見直しにより変更された箇所です。

基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29～R8)で定めた進捗評価のための指標			令和4年度目標	事業計画
					指標	現況(平成27年度)	目標		
3 里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり	3-1	生物多様性の維持・向上 河川・琵琶湖の保全 	みんなが親しむ きれいな川づくり プロジェクト	・NPO法人家棟川流域観光船 ・野洲市里川づくり委員会 ・野洲市ホテルを復活させる会 ・家棟川・童子川・中ノ池川に ピワマスを戻すプロジェクト ・市 環境課	・河岸・湖岸清掃活動実施回数、参加者数(のべ) 10回・213人 (平成23～27年度 の平均)	維持	・ピワマス生息環境の整備や 河川清掃活動の実施 →5回・100人以上 ※指標に基づき、3-3と合算	・新型コロナウイルスの状況を考慮しながら琵琶湖 固有種のピワマスが生息できる環境づくりを推進し、 市民が親しむ川づくりを行う。清掃活動などを実施 し、河川環境の保全に取り組む。	
					・環境学習会・体験イベント等実施回数、 参加者数(のべ) 53回・1,763人 (平成23～27年度 の平均)	維持	・環境学習・イベントの実施 →45回・1000人以上 ※指標に基づき、3-3と合算	・ヨシ植栽の効果検証を行い、生きもの観察会やエ コ遊覧等を通じて、河川環境を知る機会を提供す る。	
	3-2	生物多様性の維持・向上 里山の保全 	里山を 守り育てる プロジェクト	・山部会 ・市 農林水産課	・里山保全活動実施回数、参加者数(のべ) 29回・346人 (平成23～27年度 の平均)	維持	・里山保全活動 →30回・340人以上	・良好な里山環境の整備及び生物多様性の保全を 図る。	
					・里山学習会・体験イベント等実施回数、 参加者数(のべ) 16回・511人 (平成23～27年度 の平均)	維持	・里山学習・イベントの実施 →15回・500人以上	・里山の機能を理解するための情報提供やイベント 等を行う。	
3-3	生物多様性の維持・向上 河川・琵琶湖の保全 	びわ湖を守ろう プロジェクト	・びわ湖の水と地域の環境を守 る会 ・野洲市びわ湖を守る会 ・市 環境課	・河岸・湖岸清掃活動実施回数、参加者数(のべ) ※再掲(3-1指標) 10回・213人 (平成23～27年度 の平均)	維持	・湖岸清掃活動の実施 →5回・100人以上 ※指標に基づき、3-1と合算	・マイアミ浜やあやめ浜での清掃活動に取り組む。ま た、そうしたボランティア活動を支援する。		
				・環境学習会・体験イベント等実施回数、 参加者数(のべ) ※再掲(3-1指標) 53回・1,763人 (平成23～27年度 の平均)	維持	・あやめ浜まつりや ヨシ植えイベントの開催 →5回・1000人以上の参加 ※指標に基づき、3-1と合算	・ヨシ植栽の効果検証を行い、琵琶湖環境の保全意 識を啓発するための活動を行う。		
3-4	農地の保全 	環境にやさしい 農地の活用 プロジェクト	・野洲市魚のゆりかご水田協 議会 ・市 農林水産課	・環境こだわり農産物の栽培面積 997 ha (平成27年度)	維持	・環境こだわり農産物 →栽培面積997ha以上	・環境こだわり農業を推進することによって、より安 全で安心な農産物を消費者に供給するとともに、琵 琶湖等の環境保全を図る。		
				・有機農業栽培面積 25 ha (平成27年度)	維持	・有機農業栽培面積 →25ha以上	・有機農業を推進することによって、地球温暖化防止 や生物多様性保全を図る。		
基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29～R8)で定めた進捗評価のための指標			令和4年度目標	事業計画
4 環境学習の推進による市民活動の促進	4-1	環境学習の推進 	みんなで 環境学習 プロジェクト	・えこっち・やす事務局 ・市 環境課	・出前講座等(省エネ・リサイクル関連)実施回数、 参加者数(のべ) 17回・642人 (平成23～27年度 の平均)	継続	・出前講座等の実施 →17回・640人以上	・身近な環境から地球規模の環境まで、幅広い年齢 層に広く知識を習得する機会を増やし、市民が自ら 環境保全に取り組む意欲の増進を図る。	
					・クリーンセンターの市民活動拠点における 市民活動等実施回数 —	年1回以上	・エコプラザでの市民活動 →年1回以上	・あらゆる世代の環境保全に対する意識の高揚を促 すため、ホームページ、広報、チラシの他、SNSを活 用したり、イベント開催時にはアンケート等を実施し、 今後の人材発掘につなげる。	
	・HP情報発信数 (SNSを活用した情報発信も行う) —	月1回	・月1回以上の市HP周知						